

大山 徹 先生

先生のプロフィール

【出身地】

岡山県

【専攻】

刑法、経済刑法

【近年(2~3年)の担当科目】

刑法総論、刑法各論、法学入門

【コロナ後に行きたい場所(国内でも外国でも)】

ハンガリー、オーストリア、ドイツ、伊勢等



[新生や刑法を初めて学ぶ人に向けて刑法の魅力を教えてください。]

場合によっては人を死刑にすることができる力が刑法にはあるので、非常に理論的かつシステマティックなつくりになっており、その点に魅力を感じます。また、生徒からは、説明が論理的で分かりやすいとの声をいただくので、刑法を通して、体系的に物事を考察し、相手に伝える力が身につくのだと思います。

[先生が講義をするに当たって心がけていることはありますか?]

いつも、わかりやすさと明快さを心がけています。また、法科大学院の学生に授業を行うこともあるので、講義の対象が初学者なのか、ある程度のセミプロなのかによって、適宜、話し方を変えています。

[先生が刑法に興味を持ったきっかけは何ですか?]

理論的に構成されており、それ故に普段考えないようなことを考察する点に興味を持ちました。例えば刑法では単純賭博罪や、常習賭博罪が処罰されていますが、賭け麻雀が禁止される一方で、町を歩けば競馬場などがあり、公共ギャンブルとして合法的に運営されています。こういった身の回りにある疑問などに根本的な考察をして、理論的な説明を可能にする楽しみがあると思います。

[学生のうちに経験しておくべきことは何だと思いますか?]

失敗しておくことだと思います。自分で才能が無いと思うことであっても、失敗を恐れず、

失敗がある程度許される若い内にやってみるべきだと思います。大人になってからでは、社会的な立場や、ルーティーンなども定まっているので失敗のリスクが大きくなります。

[学生に向けて一言お願いします。]

世の中の変化のスピードが速いので、新しい流れに自分を即応する力を身につけてほしいと思います。また、自分なりの問題発見能力や問題解決能力を醸成してほしいですね。大学を卒業した後は教科書も何もない状態で、人生をどのように展開していくかを自分で決めていける力をつけてもらいたいですね。

★ 大山 徹 ゼミの実態! (2022 年度ゼミ生 6名)

★大山先生のトリセツ

- ・優しいです。
- ・ゼミ生の意見をよく聞いてくれます。
- ・以前の同僚や友人の面白いエピソードが多いです。
- ・授業以外のことにも助言をくれます。

日々や休暇中の課題

活動内容

【日々の準備、課題】

- ・ニュースなどの時事にアンテナを張る

【長期休暇課題】

特にありません。

- ・先生の配布する新聞記事を読んで、意見交流などを行います。
- ・記事の内容は刑法に限らず、他の法律分野、経済、環境など様々です。
- ・教科書の内容についての説明を受けて、後に意見交流を行います。
- ・適度に休憩を取ります。